

第 693 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

フリートーク

(今年 7 月～12 月に放送したラジオ・テレビ番組及び放送全般について意見交換)

令和 5 年 12 月 15 日

BSN新潟放送

第 693 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 5 年 12 月 15 日（金）午前 11：00～

2. 開催場所 新潟市中央区 大橋屋

3. 委員の出席

○委員側出席者（敬称略・順不同）

委員長	古賀 豊	委員	渡邊 信子
委員	三井田 由香	委員	佐野 哲郎
委員	石坂 智恵美	委員	馬場 幸夫
委員	馬場 省吾	委員	大橋 未来子

○審議番組事前レポート提出者

副委員長	佐藤 元	委員	高橋 信
------	------	----	------

○放送事業者側出席者

社長	島田 好久	常務取締役	五十嵐 幹史
編成局長	井上 智美		

事務局 金山 英功（編成局テレビ編成部部长）

4. 議題

1 報告事項 令和 6 年 1 月の番組について（各担当）

2 審議事項 フリートーク

（今年 7 月～12 月に放送したラジオ・テレビ番組及び放送全般について意見交換）

5. 議事の概要

島田社長のあいさつの後、各担当からの 1 月度番組報告に続いて、今年 7 月から 12 月に放送したラジオ・テレビ番組（自社制作番組・TBS 等ネット番組）及び放送全般について意見交換が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- 「マツコの知らない世界」「バナナマンのせっかくグルメ!!」番組タイトルに名前（コンビ名）が付いている番組は信頼感がある。マツコがお勧めといったものは本当に良さそうだし、日村が「おいしい」と言ったお店は一般人の紹介とは言え行ってみたくなる。新潟でも信頼感の高いタレントがいたらいい。

- ワイドショー、ニュースでウクライナ・ガザ地区における市民の様子はとても悲痛であり、映し出されるとチャンネルを替える。ジャーナリストの無事を祈り、そして真実の報道、発信を願う。

- 「ゆうなび」の回顧録で高校生による切り付け事件での犯人のことはととしてアナウンサーが声色を作って言っていたが、そういうことは必要なのか。

- 地域で頑張る人にスポットを当てる番組を続けてほしい。更には人物の背景等深掘りを。

- 「水曜見ナイト」「なじラテ。」ではグルメ紹介（食）の割合が高い。単なる紹介にとどまらない工夫はしているが、他局と取材先が被ることも多い。バラエティ番組の中でも食中心から文化や歴史、人や企業にスポットを当ててみては。

- 番組で紹介したコト・人など、その後についても追いかけて、放送してほしい。

- ローカル局が生き残っていくためには、地域に根ざす魅力をどう掘り起こし、伝えるかが大事。

- 「VIVANT」はその圧倒的なスケール感と予想を裏切られるストーリーで飽きさせなかった。

- ジャニーズ問題は付度なく取り上げてほしい。

- 「サンデーモーニング」は若いころから好きで長く見ている。コメンターに関して、昔ははっきり言っていたが、最近は丸くなってきた。また、番組内の紙芝居はデジタル時代の今こそ大事。

- 今年はWBCをはじめ多くの世界的なスポーツ大会があり、多くの感動を貰ったが、実況が煽りとも感じる解説者への質問や振りが、時に実況側のストーリーを完成させるためのもののように思えた。

【文責・番組審議会事務局】